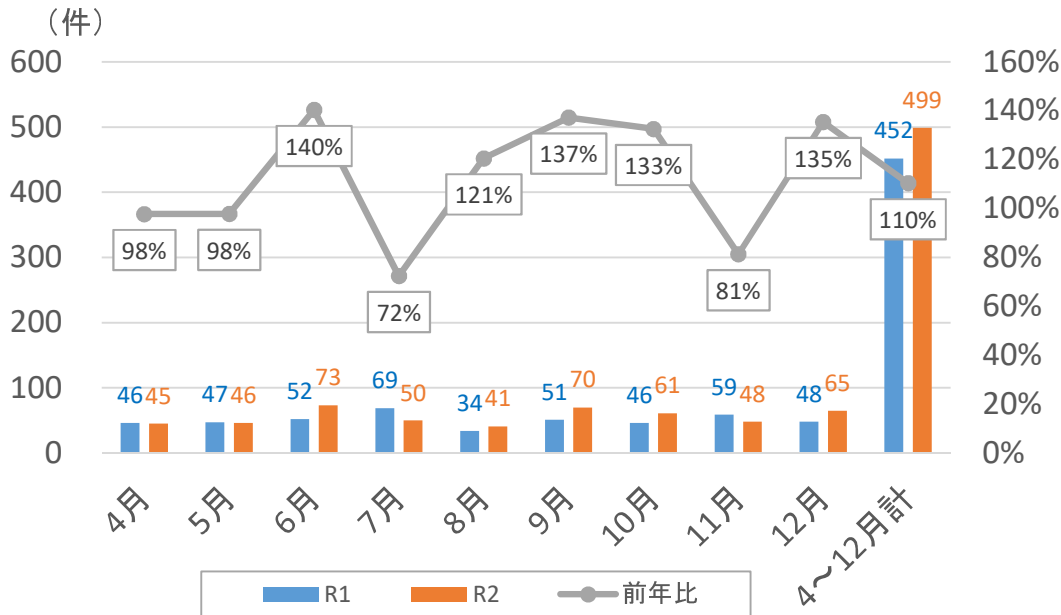


新型コロナウイルス感染症流行下のDV相談状況

1 奈良県のDV相談件数※

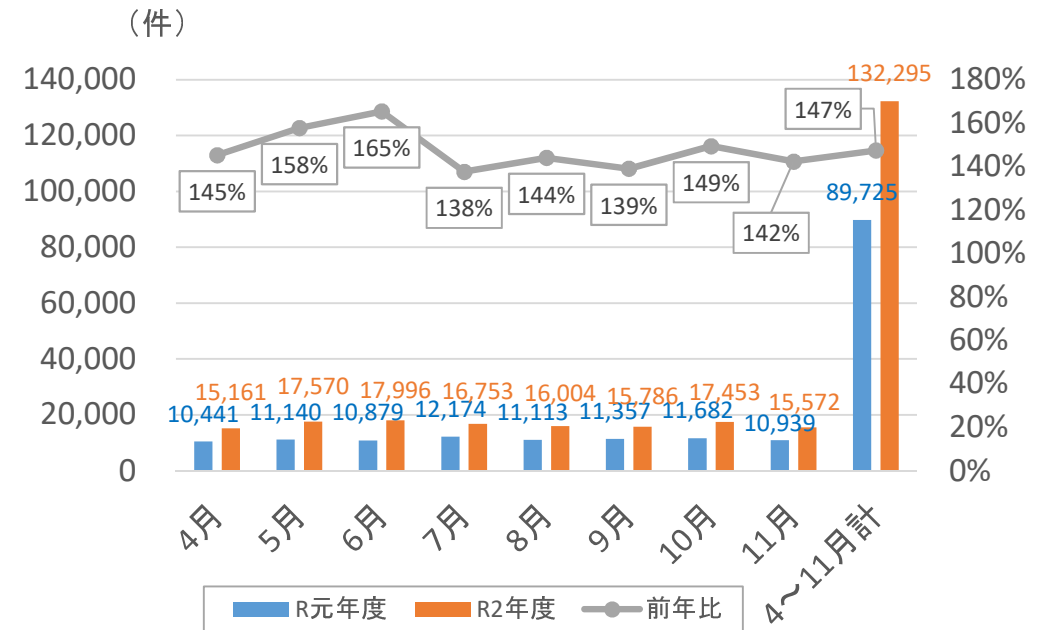
※中央こども家庭相談センター、高田こども相談センター及び女性センターにおける暴力原因相談件数の合計



奈良県のDV相談件数の増加(対前年同月)をみると、6月、9月及び12月の相談件数は前年同月の1.4倍。

2 全国のDV相談件数※

※DV相談プラス及び全国の配偶者暴力相談支援センターからの相談件数(暫定値)の合計(内閣府男女共同参画局調べ)



全国のDV相談件数の増加(対前年同月比)をみると、全体的に前年度よりも相談件数が増えており、特に5月、6月の相談件数は前年同月の1.6倍。

<内閣府コメント> ※新聞記事より抜粋

内閣府の担当者は「自宅で過ごす時間が長くなり、ストレスや生活不安を抱えて暴力に至る事例が増えている」と分析している。

また、橋本聖子男女共同参画担当相は1月12日の記者会見で「再び緊急事態宣言も発令され、状況を注視し対応を強化する必要がある」とコメントした。